

平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	製図1(Drawing1)		授業コード	C185701
担当教員名	廣田 篤彦		科目ナンバリングコード	
配当学年	1	開講期	前期	
必修・選択区分	建築コース(選択) インテリアデザインコース(選択必修) 環境・地域創生コース(選択)	単位数	1	
履修上の注意または履修条件	図面は期限内に完成させ提出してください。			
受講心得	毎時製図用具を持参してください。			
教科書	なし			
参考文献及び指定図書	パースの超簡略技法(学芸出版社)北村稔著 ほか			
関連科目	CAD製図, 造形, スペースデザイン			

授業の目的	製図は線の練習からはじめます。線は太線、中線、細線で表現できることが必要です。自由に線で表現できるように基本的な線とその他の線の表現について演習を行います。点から線への表現、ここでは図面表現の基礎となる線の練習を行い、また、線から面としての立体表現の基礎的な表現技術を習得します。さらに、遠近法で表現することにより空間の概念が表現できることを理解させ、線から面へそして空間、奥行き表現へと一本の線に秘めた無限の可能性を理解させながら課題の演習を行います。
授業の概要	線の引き方、立体の描画方法を学習する。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：スタートアップセミナー	
第2週：製図用具について 製図で使用する用具、及びその使用方法について学習します。購入すべき用具の紹介と、製図台の使い方、定規の使い方などについて説明を行います。また、授業計画や受講の心構え、具体的な評価の方法などについても解説します。	配布資料の予習・復習 課題の制作
第3週：課題1 線の練習(1) 三角定規、スケール、ホルダーの使い方を習得しながら、図面で用いる基礎的な線(実線＝太線・中線・細線、破線、点線、鎖線)の練習を行います。また、平行定規と三角定規を用いた垂直線と斜線、平行線の引き方についても学習します。作成した図面は授業終了時に毎回回収し、指導印を押した上で、翌週に返却します。	配布資料の予習・復習 課題の制作
第4週：課題1 線の練習(2) 前週に引き続き、線の練習を行います。机間巡視をしながら随時指導を行います。	配布資料の予習・復習 課題の制作
第5週：課題1 線の練習(3) 上記練習の続きです。当該時間内に図面を完成させて提出します。図面表現に誤りがないこと、丁寧かつ綺麗に書かれていることなどが評価の基準となります。これらの基準を満たしていない者、または未完成の者については再提出扱いとなり、次週までの宿題となります。	配布資料の予習・復習 課題の制作
第6週：課題2 三面図(1)	

設計図面に広く用いられている一般的な正投影図法について解説し、第三角法による図面表現と三面図の表現方法について学習します。平面図、正面図、側面図の概念を理解し、等角投影図(アイソメトリック)によって表現された立体図から、平面的な三面図へと展開していく練習を行います。作成した図面は授業終了時に一旦回収し、指導印を押した上で、翌週に返却します。		配布資料の予習・復習 課題の制作
第7週：課題2 三面図(2) 上記練習の続きです。当該時間内に図面を完成させて提出します。図面表現に誤りがないこと、丁寧かつ綺麗に書かれていることなどが評価の基準となります。これらの基準を満たしていない者、または未完成の者については再提出扱いとなり、次週までの宿題となります。		配布資料の予習・復習 課題の制作
第8週：課題3 正投影図(1) 三面図を読み、等角投影法により立体表現を行います。与えられた図面(平面図、正面図、側面図)を立体化していくプロセスを理解し、それを三次元的に表現するアイソメトリックの作図法についても学習します。作成した図面は授業終了時に一旦回収し、指導印を押した上で、翌週に返却します。		配布資料の予習・復習 課題の制作
第9週：課題3 正投影図(2) 上記練習の続きです。当該時間内に図面を完成させて提出します。図面表現に誤りがないこと、丁寧かつ綺麗に書かれていることなどが評価の基準となります。これらの基準を満たしていない者、または未完成の者については再提出扱いとなり、次週までの宿題となります。		配布資料の予習・復習 課題の制作
第10週：課題4 透視図(1) 透視図の種類と記号について理解するとともに、1消点透視図(平行透視)と2消点透視図の作図方法について学習します。与えられた平面図と立面図から情報を読み取り、立体化していくまでの手順を練習します。作成した図面は授業終了時に毎回回収し、指導印を押した上で翌週に返却します。		配布資料の予習・復習 課題の制作
第11週：課題4 透視図(2) 1消点透視図と2消点透視図の各種作図法を学習します。1消点透視図は建物のファサード(正面)から見た鳥瞰的な図を、また、2消点透視図では消点法・足線法・陰影図の作図方法について練習を行います。机間巡視をしながら随時指導を行います。		配布資料の予習・復習 課題の制作
第12週：課題4 透視図(3) 上記練習の続きです。当該時間内に図面を完成させて提出します。図面表現に誤りがないこと、丁寧かつ綺麗に書かれていることなどが評価の基準となります。これらの基準を満たしていない者、または未完成の者については再提出扱いとなり、次週までの宿題となります。		配布資料の予習・復習 課題の制作
第13週：課題5 室内パース(1) 1消点透視図法により、室内パースを作図します。壁・床・天井の他に、開口部(ドアや窓)や家具(机・サイドボード)、照明器具、植栽、人などを表現した上で、最終的には色鉛筆を用いて着色仕上げとします。作成した図面は授業終了時に毎回回収し、指導印を押した上で翌週に返却します。		配布資料の予習・復習 課題の制作
第14週：課題5 室内パース(2) 引き続き、1消点透視図法による、室内パースを作図します。机間巡視をしながら随時指導を行います。		配布資料の予習・復習 課題の制作
第15週：課題5 室内パース(3) 室内パースの仕上げを行います。カラーコーディネートを考えた着色や、立体感を増すための陰影等によって、各自工夫してプレゼンテーションします。机間巡視をしながら随時指導を行います。		配布資料の予習・復習 課題の制作
第16週：課題5 室内パース(4) 当該時間内に図面を完成させて提出します。図面表現に誤りがないこと、丁寧かつ綺麗に書かれていることなどが評価の基準となります。これらの基準を満たしていない者、または未完成の者については再提出扱いとなり、次週までの宿題となります。		配布資料の予習・復習 課題の制作
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標

【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	立体の捉え方を養う。
【技能・表現・コミュニケーション】	①線の引き方を練習する。 ②パースの技法を習得する。
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		25点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		75点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				
<p>(「人間力」について)</p> <p>※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p>				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	